第3回

第5期雄武町総合計画（後期基本計画） 策定審議会 議事録

【日 時】 平成24年 9月 3日(月) 19:00～21:15

【場 所】 雄武町地域交流センター1F 多目的ホール

【出席者】

＜審議会委員＞

嘉島 壽	会長	阿部 正吉	委員	城地 剛	委員
細田 尚孝	委員	五十嵐 寛	委員	本多 芳秋	委員
太田 修二	委員	工藤 正孝	委員	麻生 賢一	委員
新山 貴文	委員	佐々木伸行	委員	石井 友蔵	委員
田口 洋	委員	目黒佐都美	委員	湯浅 純人	委員
中村 信之	委員	菊地 千秋	委員	小林 康夫	委員
高橋 進	委員	中橋 綾子	委員	掛川原夕子	委員

＜雄 武 町＞

事務局～佐々木財務企画課長 大水企画調整係長
檀山企画調整係主査 小俣企画調整係

株式会社ぎょうせい総合研究所～主任研究員 今中 英二氏

- 【会議次第】
1. 開会（町民憲章朗唱）
 2. 会長挨拶
 3. 報告事項
 - (1) 第5期雄武町総合計画前期基本計画の推進状況
 - (2) 第1回ワークショップの意見等
 4. 協議事項
 - (1) 後期基本計画策定に向けた第2回ワークショップ
 5. その他
 6. 閉会

- 【配布資料】
- ・第3回策定審議会議案
 - ・報告事項資料1（前期基本計画の推進状況）
 - ・報告事項資料2（第1回ワークショップの意見等）

【議事録】

1. 開会

（佐々木財務企画課長）

定刻になりましたので、第3回雄武町総合計画策定審議会を開催いたします。本日はお忙しい中また夜分にも関わらず、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

会議に入ります前に、町民憲章の朗唱を行いたいと思います。私が5つの誓いを一条ずつ読み上げ、先導いたしますので、皆様には、これに続き朗唱をお願いいたします。それではご起立願います。

（町民憲章朗唱）

—全員で町民憲章を朗唱—

（佐々木財務企画課長）

ありがとうございます。それでは、会議に入ります前に嘉島会長に一言ご挨拶をいただきたいと思います。

2. 会長挨拶

（嘉島会長）

お晩でございます。日中お仕事でお疲れのところ、大変御苦勞様でございます。本日は第3回の審議会ということでございますが、今回の内容というのは2つありまして、1つは前回事務局から説明がありました前期計画の推進状況の続きと前回のワークショップのまとめでございます。

もう1つは、前回のワークショップの続きになりますが、雄武町の明るい将来を築くために皆様方の思っている考えや思いを和やかな雰囲気の中で出し合って、次のステップにつながっていければと思っています。

今日も有意義な会議で終わりますことをお願いしまして挨拶いたします。

（佐々木財務企画課長）

ありがとうございます。それではこれから会議に入りますけども、この先につきましては嘉島会長の進行にてお願いいたします。なお、ワークショップの組分けにつきましては、事務局の方で振り分けをさせていただきましたことをご理解いただきたいと思います。それでは会長よろしく願います。

3. 報告事項

(1) 第5期雄武町総合計画前期基本計画の推進状況

(嘉島会長)

それでは会議次第の3番の報告事項に入ります。2点ありまして、前期基本計画の推進状況と第1回ワークショップの意見等ということでありまして、併せて事務局の方から説明があります。

(大水企画調整係長)

早速ですけれども報告事項としまして、前回同様、初めに15分ほど時間をいただきまして前期計画の振り返り、推進状況ということで、前回会議では計画概要から地域産業・観光振興の部分まで報告させていただきました。本日は、資料①の13ページから23ページまで「保健福祉・子育て・教育分野」の報告となります。このあとの協議事項、各論のワークショップにおいて、BグループとCグループのテーマと関連する部分でございます。

まずは13ページ、政策目標の2「ぬくもり雄武～保健・医療・福祉の充実」から。基本施策6「保健・医療の充実」につきまして、指標評価としましては上から2つ目、特定健診受診率の評価が低い状況ということで、国が示す目標値65%の半分にとどまっております。ただ一番上の内臓脂肪症候群は平成20年度と比較して8.0%減と、町民の方々それぞれの方法でメタボ改善に取り組まれている、ウォーキングされている方をよく目にしますけれども、努力の結果が数値に表れていると、そんな感じがいたします。単位施策の評価では(2)成人保健の充実として、特定検診やがん検診の受診率向上、生活習慣病の予防策を強化していく必要があります。(3)母子保健の充実はおおむね良好で「育児不安を感じる親の割合」はアンケート上ではありますが、大きく減少しております。次のページ、(4)メンタルヘルス対策の推進としては当時者会であります「はまなす会」と「家族会」に対し両輪での支援を実施、(5)地域医療体制維持の確立においては道立紋別病院の広域運営に切り替えての維持・解決、さらに本年3月から、国保病院の療養病床26床を介護老人保健施設に転換を図りまして、今後は健全運営に努めることが重要となってくるところであります。

基本施策7「高齢者支援の充実」、高齢化社会においては重要な分野となります。指標評価では訪問介護が減、通所・入所系のサービスは増といった傾向となっております。なお、一番上の要介護認定率が僅かながら下がっていることは、良い傾向と思われれます。単位施策の評価としましては(1)介護サービス充実の部分では、特養もユニット化が図られ入所系サービスは指標を達成、デイサービス等通所系もおおむね良好であります。今後は要介護状態になっても「在宅」で暮らしていける環境づくり、非常に難しい課題ではありますが、充実を図っていくことが重要であります。(2)生活支援の充実としては、暖房燃料や防寒用品購入を助成する「高齢者の冬の生活支援事業」などを推進しております。(3)の社会参加の促進も含めて、「高齢者の皆さんが夢と生きがいをもって暮らせるまちづくり」が町政執行方針となっておりますので、引き続き施策の充実強化が求められるところです。

次の基本施策8「子育て・子育ての充実」についても、町政方針に「育てるまちづくり」として謳われている分野であります。指標の評価としましては統合保育所・認定子ども園が開設されたことにより保育所利用率が向上し、若干ではありますが「子育て支援全体の満足度」も向上しています。ページめくりまして、単位施策の評価では(1)子育て支援の強化では児童センターの「子ども祭り」など事業の充実に向けてきておりまして概ね良好、(2)子育て支援の強化では前期の大型事業「認定子ども園」の開設、また(3)の少子化問題の対応としましては、乳幼児医療の助成を町単独で高校生まで拡大し、本年度この春から推進しているところであります。

続きまして基本施策9「障害者支援の充実」についてであります。指標評価はいずれも目標未達成ですが、単位施策の(1)自立支援対策の推進では、自立支援法上のサービスや医療費等支援などを推進してきたところであります。(2)は子どもの部分、教育・保育の推進としては、学校・保育所・福祉教育部門が連携してきめ細かな対応に努めております。(3)社会参加の促進については、関係機関と調整を図りながら、引き続き活動支援強化が求められる、といった状況であります。

基本施策10「地域福祉の推進」につきましては、まず指標の部分で社協ボランティアの登録者数が目標の半分にとどまっている状況でございます。その下、福祉体験の人数では平成18年度の実績の部分で、当時、雄武高校生のボランティア体験が含まれた数字となっておりますので、実績としては

下がっております。次ページ、単位施策の評価でありますけれども、(1)の福祉意識の醸成から(4)の人にやさしいまちづくり、非常に広範な捉え方ができる単位施策となっておりますが、(2)のボランティアの育成・促進の面では、自治会や雄武高校生、各事業所による国道花壇整備・清掃活動等が定着してきております。また、ハード整備としましては(3)の地域のたまり場づくりの部分で、沢木地区に住民センターが建設されたところでございます。

次19ページ、基本施策11「社会保障制度の充実」に関してであります。指標評価としては、上の2つ医療費関係が課題あり、介護給付・生活保護率・民生委員さんの相談関係はおおむね良好となっております。国保一人当たり給付費は39万から28万円に下がっておりますけれども、平成21年度からの高齢者保険創設によるもので、全国・全道平均と比べて高い現状にあります。単位施策評価では(1)国保・高齢者保険の運営安定化ということで、特定健診・保健指導等、保健師に頑張ってもらいつつ、町民皆さんが健康増進の意識をさらに高めていくことが重要と考えられるところです。(2)年金相談体制の充実～(4)低所得者の自立支援の部分は、民生児童委員さんや町担当者などが連携しまして、ほぼ適切に実施できていると思われま

す。

続きまして20ページ教育関係に入ります。政策目標「のびやか雄武～教育・文化の振興」、基本施策12「学校教育の充実」について、まず指標評価の部分ではすべて「○」でございます。参考の表ですけれども、左側の「基礎学習を定着する教育」と右側の「地域に開かれた学校運営」の評価が高く、私ごとながら中学生が2人おりまして、実際、そう感じているところであり

ます。単位施策では(1)小中学校の教育内容充実の面では「特別教育支援員」や「ふるさと教員」などの人員強化を図っております。(2)教育環境の充実では各校の耐震化率100%を達成、(3)開かれた学校づくりの推進では、PTA などによるスキー授業のサポート、読み聞かせの会による活発な活動等、具体的な取り組みが目に見えて広がってきております。(4)については、教育相談員の部分で現在未配置ということで、適任者の配置が課題となっております。(5)雄武高校への継続的支援としましては、やはり地元に高等学校が「ある」と「ない」とでは、本町にとって「死活問題」といっても過言ではないくらい、重要な施策でありますので、今後も地域一体となって強

力に存続運動を展開していく必要がございます。

次のページ、基本施策13「生涯学習・スポーツの推進」ですが、指標的には「総じて横ばい」といったところであります。単位施策の評価としましては(1)推進体制強化については、今年度策定する第8次社会教育中期計画が平成25年から29年度までと、後期基本計画と同じ期間ですので、計画の整合を図りながら推進方向を示していく、といった状況です。(2)学習・スポーツ活動の推進では、各種事業の開催、団体の支援等おおむね順調に実施してきた中で、スポーツ合宿招致事業等、地理的に冷涼な地域性を活かしつつ、これも空港助成制度とリンクさせることができますので、具体的な取り組みも考えていけるのではないかと感じるところでございます。(3)青少年教育の推進は、スポーツ等少年団加入率も良好に推移しております。(4)図書サービスの充実に関しましては、現在「雄武町の図書館を考える会」におきまして、図書館整備の是非も含め、今後の図書館のあり方について検討、熟考中でございます。

基本施策14「芸術・文化の振興」について、指標評価は低調な結果となっております。単位施策評価としましては(1)歴史文化の保存と継承ということで、開拓時に用いられたな産業器具等は、町の広報誌による紹介を行ってききましたが、今後はどのように一般供覧化を図っていくかが課題、(2)芸術・文化活動の促進では、文化公演事業の開催、文化団体への支援を実施しておりまして、今後さらなる活動活性化や加入促進及び維持を図りながら、町民全体の文化意識の向上に努めていく必要がある、といったところであります。

以上が、資料①の説明ということで終わります。

次に報告事項の2つ目、第1回ワークショップの意見等については、資料②のとおり、各班ごとに「強み」「弱み」「施策」としてまとめた表でございます。各班とも共通するのは、人口減少に非常に危機感を持っておりまして、地域の資源、隠れた資源に光を当てて、最大限に活かすべき、といったまとめになろうかと思えます。

なお本日も、ぎょうせい総研の今中さんが出席されておりますので、補足・まとめ等があれば説明をお願いしたいと思います。

(今中主任研究員)

みなさんお晩でございます。株式会社ぎょうせいの今中です。前回ワーク

ショップで雄武町の強みや弱み、それからその強みを更に伸ばす、または弱みを改善するための方策や施策を皆さんに考えていただいたところでありませう。強みにつきましては、自然が豊かであることやその自然の恵みによる海の幸や山の幸、また自然災害が少ないこと、災害リスクが少ないということをおアピールしていけたら良いのではないかという意見がありました。

人の面では、人々が優しく寛容であるということや職住一体の就労形態が可能であるといったライフスタイルに関する意見もありました。

産業の方では、一次産品が豊かであるが付加価値を高めるアイデアがないですとか、異業種間の交流が少ない、雄武町の特に優れている部分が明確でない、資源はあるけども上手く活かしきれていないといったことが弱みであると皆さん共通した見解でありました。また、町が税金投入してやっている事業で「作り育てる漁業」を進めることが必要であるという意見もありました。それから加工業界への経営基盤強化の為の環境づくりや町からの支援。ここにももうちょっと行政からの支援もそうですし、住民の方の加工業に対する意識が気になるところでございます。流通面についても意見がありまして、商品流通の拡大、商品販売ルートの改革が必要であります。私から見れば東京・大阪・名古屋から観光客を呼び込むですとか雄武一名寄間の道路整備といった道路整備関係といったところにももう少し投資していただけたらなと思われました。以上私から感じたことをお話ししました。

(嘉島会長)

ただいま報告事項1第5期雄武町総合計画策定審議会に絡めまして、政策目標2の保健・医療・福祉の充実と政策目標3の教育・文化の振興について、それと前回のワークショップの意見等について報告を受けました。併せまして疑問や確認したい点がありましたらお願いいたします。なければ報告事項はこれで終了してワークショップの方に移りたいと思えます。

4. 協議事項

(ワークショップ)

ー今中主任研究員から説明の後、ワークショップ開始ー

A班 「地域産業と観光の振興策を考えよう」
太田委員、工藤委員、麻生委員、
新山委員、佐々木委員、石井委員

B班 「健康的に、安心して雄武で暮らそう」
嘉島会長、阿部委員、城地委員、細田委員、
五十嵐委員、本多委員、高橋委員

C班 「子育て・教育環境をより良くしよう」
田口委員、目黒委員、湯浅委員、中村委員、
菊地委員、小林委員、中橋委員、掛川原委員

(今中主任研究員)

お時間となりましたので、各班3分を目途にそれぞれ発表をしていただきたいと思います。最初はA班お願いいたします。

(石井委員)

A班は地域産業と観光振興策ということで、この前出た意見と同じ部分もありますが、まず、農業の関係です。担い手がない、後継者がいないということで、生産法人化のようなそれに類するものを考えて、これから町の協力を得ながらやった方がいいのではないかとということと、飼料生産の面積が大きいので畑作と関連してやれたらいいのではないかとという意見もありました。

それから商工業に関しては町のブランドの確立です。例えばメジカについて、二次加工については何もないんですね。だからそういった部分を将来研究・開発することが必要ではないかということです。

観光に関しては、グローバルに考えていかなければならないと思います。1つは体験型の観光ということで、紋別-羽田便の搭乗率も上げていきながらも、林業や水産業等といったものと観光を一体とした受け入れ体制を作ってはいかがかなと思います。それから日の出岬周辺の整備なんですけども、オートキャンプ場等を作ってはどうかという意見がありました。なるべく建物を建てないで、ましてや日の出岬の自然を壊さないでできる方法はないのかということでした。

それから6次産業では、林業・水産加工業の関係で若い人がいないということで、雇用体制が各業種において確立されていない現状で今の最低賃金の問題でもありますように、なかなか通年雇用が各業種ともできない状況にありますので、そういったこともこれから考えていかなければならないのかなと思います。

全体的には、観光も含めた中でグローバルに物事を考えて、異業種交流という部分も必要ではないかという意見もありました。そういった中でやっつけば人口減も食い止められるのではないかとということ、これから我々の意見がどうやって集約されていくのかわからないですけども、こういった意

見が出ました。以上です。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。A班に何かご質問とかある方いらっしゃいますか。産業についてはみなさん同じような理解ですね。引き続きまして次はB班に発表をお願いします。

(細田委員)

私どもB班のテーマは健康的に安心して雄武で暮らそうと誠に大きなテーマで苦勞いたしました。当り前のようなことかもしれませんが、あまりにもテーマが大きすぎて、なかなか距離感が縮まらなかったということでございます。

最初に医療の問題ではピンクの付箋（雄武町の弱み）が多いです。これはやはり国保病院のことです。地域の医療機関に対して町民の信頼度が非常に低い。定着した病院の機能を果たしているのかを別として、他の病院へ送りこまれるケースが多々ある。そのために地域医療としての町民の信頼が非常に低くなっているのではないのではないかとということがまず挙げられます。それから診療科の関係では、高齢者の方や目が不自由な方の為に眼科医療を提供したらいいのではないかと思います。週1回または週2回でもそういった形をとった方がいいのではないかといったご意見もありました。これの対応というのはざっばくなんですけども、町として経営が難しかったら色々宣伝して外部委託にしたらどうでしょうか。こういった立派な病院施設があるのだから個人や団体に医療会社を経営しませんかというぐらい大々的に宣伝して求めてはどうですかという考えでございます。ちょっと無責任のような気がしますけども、お金の問題がありますから。お金がたくさんあった時代ではなくお金がないわけですから対応策といってもそう簡単に見つかりません。だからこういう方法がいいのではないかとということです。

それから防災。これは昨年の3.11の関係で大きな被害が出た災害がありました。昨年雄武でも11月に津波が来たということ想定して避難訓練を行いました。ただその後については全く動きが見られません。最近では紋別沖で活断層が見つかりまして、7メートル以上の津波が来るのではないかとこの心配もあります。防災に対してももう少し意識をもって対応した方がいいのではないかとこの考えであります。特に個人情報と町、自治会の関係ですけども町がある程度の情報を握っていると思います。ところが町の情報が個人情報に引っかけられて出せないというのはおかしいと思います。こういったことを改善して開放的な考え方をもってやってくればそれまでの関係がクリアできるんじゃないかとこの考えです。

それからコミュニティの問題です。この町の良い所というのは、町民や子

どもさん含めて挨拶がきちんとできるということが挙げられます。また、紋別から来た人ですけども雄武には色々なイベントがたくさんあって、いい雰囲気を持っている町だというようなお褒めの言葉もいただいております。特に高齢者の関係につきましては、今後の高齢者社会のウエイトが高くなりますので、それを充実するための対応を積極的に取り入れていくことが必要ではないでしょうか。

それから生活環境については、みなさんブルーの付箋（雄武町の強み）が多いです。治安もいいし、大きな問題もないという考えであります。ただ、これは私の考えですけども、1回目のワークショップをやった時に働く場所がないという意見が多くみられました。水産加工業というのは働く場所があっても働く人がいないというのが悩みなんです。働く場所があっても働く人がいない。そこら辺の関係についても町の基幹産業という立場から認識を切り替えていって欲しいと思います。

それから住宅関係。これは住宅が少ない。特に転勤してくる方がすぐ入れるような住宅が無くて困っているというような話もございました。

B班は前段お話ししたとおり、非常にテーマが大きすぎてなかなかまとめきれませんでしたけども、6人のグループ皆さんの考え方をまとめた結果がこれでありますので、どうぞご理解賜りたいと思います。ありがとうございました。

(今中主任研究員)

幅広いテーマをきちっと整理していただきましてありがとうございます。B班に何かご質問だとかご意見だとかあるかたいらっしゃいますか。では、引き続きましてC班お願いいたします。

(田口委員)

C班はですね、子育て・教育環境をより良くしようというテーマで、まとめさせていただきました。子育ての最中の現役のお母さんが3名、それからお父さん1名、それから社会教育のプロが1名、それから学校教育の方が2名、私以外は本当に教育に関してはプロのような皆さんばかりでして、その中で活発な意見が出されました。

まずは、子育て・幼児教育という関係でして、その中で子育て環境については非常に充実しているという意見がありました。医療費や検定料につきましても助成をしていただけたら、非常にこの青い付箋（雄武町の強み）が目立ちます。幼児教育の中でも児童センターはとても素晴らしいという意見もあります。児童センターに行くのが楽しいですとか、児童のクラブの制度が大変素晴らしいと絶賛の内容であります。また、保育所につきましても、保育環境が大変整っている。保育料が安いですとか、非常に肯定的な意見が子

育て・幼児教育に関しては多かったです。

これは医療ということでもっと書いてありますけども、子育ての中で出てきたことですが、各専門医の外来受診をできればしていただきたいということです。例えば眼科ですとか、子供時代というのは多岐に渡った医療が必要ですので、定期的には無理でしょうけども、やっていただきたいということでもあります。

それから学校教育についてですが、小中高と非常に肯定的な意見が多いです。素直で誠実な子どもが多いですとか、学校へのボランティア制度が素晴らしいですとか、地域のボランティアによる学校支援が充実している、小中高の連携や交流研究会が素晴らしい、高校の通学や部活動、芸術活動への補助といった、学校教育に関しても肯定的な意見が多いです。若干の課題としましてはせっかく一般の方へ公開的な授業をしましてもなかなか来ていただけないというようなことや、特別支援教育、例えば障がい者等に関わる支援が少ないというような課題もあります。この課題の原因の1つとしましては、保育所から小学校へと上がる時の情報量が少ないということで、この辺を解決するためには、学校教育現場と保育所の連携を密にさせていただいて、ぜひ情報を共有していただきたいと思います。

この赤い付箋（雄武町の弱み）が多いのは生涯教育の部分でありまして、特にスポーツ環境に非常に問題があるということで、この整備が急務であるということです。スポーツセンターにしても、非常に古くて、床が危なく非常に怪我が多いということでもあります。なかなか運動できる施設ではないということです。あとはプールにつきましても古くなってきて、その維持管理についても心配であるといった意見がありました。スキー場もとてもスキー場と呼べるようなものではなく、もうちょっとスキー場は大きくあるべきだとか、大変色んな課題がございまして、これらを解決するにはやはり、こういったことに対する予算をかけていただかなくては解決しないわけですから、施設の充実のために予算を出していただきたいということです。

それと施設があってもなかなか子供達にやってもらうのが難しいということもあります。施設の充実とともに指導者の育成と人材の確保についてもぜひやってもらいたいと思います。また、なかなか難しいんでしょうけども、地域のスポーツクラブというものを創設して、雄武町全体で子供なり一般社会人もそうですけども、それを育てていけるような環境の整備が必要ではないかと思います。

それから、図書館の分野です。学校教育にも幼児教育にも生涯教育にも全て関わりますが、図書館の整備が急務であると思います。これが基本であり、図書館の整備については、急いだ方がよいという意見がございました。

大体このような事を話し合いましたが、時間がなくて一番最後の事が難しいんですけども、やはり教育予算をもう少し増やしていただくということが

必要で雄武町の場合は少ないんじゃないかというところでございます。以上でございます。

(今中主任研究員)

C班に対してご意見や質問などはありますか。もう1回3班全ての発表について、気になったことや質問があれば伺います。私は今C班の発表の中で地域のスポーツクラブがあればいいなんていうお話がありましたけども、雄武町の計画書に総合型地域スポーツクラブという事業があるんですが、なかなかできていなくて、今の発表を聞いて、改めてそのとおりであると思ったところです。質問がないようですので、ワークショップは以上で終わりました、事務局へお返しします。

(佐々木財務企画課長)

長時間のワークショップ大変お疲れ様でした。事務局の方からその他の部分はございませんので、以上を持ちまして、第3回の審議会を終わらせていただきます。本日は大変御苦労さまでした。ありがとうございました。